

当別町 基幹作物増収プロジェクト展開中！

<要請活動>

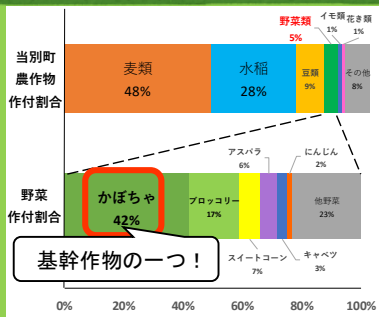
～かぼちゃの増収と経営の安定化を目指して～

活動年次：令和2～4年

石狩農業改良普及センター石狩北部支所

1 課題設定の背景

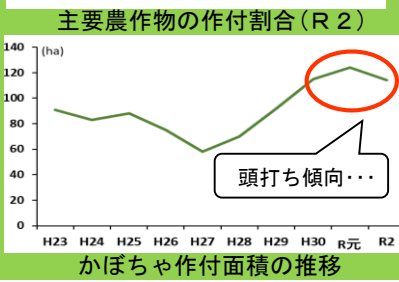
T o b e t s u



- 農家戸数の減少
 - 1戸当たりの面積増加
 - かぼちゃの面積減少の懸念
 - 栽培技術のバラツキ
- 生産額の減少…



作付面積や産出額の維持・拡大に向けて、既存農家の経営維持が必要！ ➤低収農家に対する支援を実施。

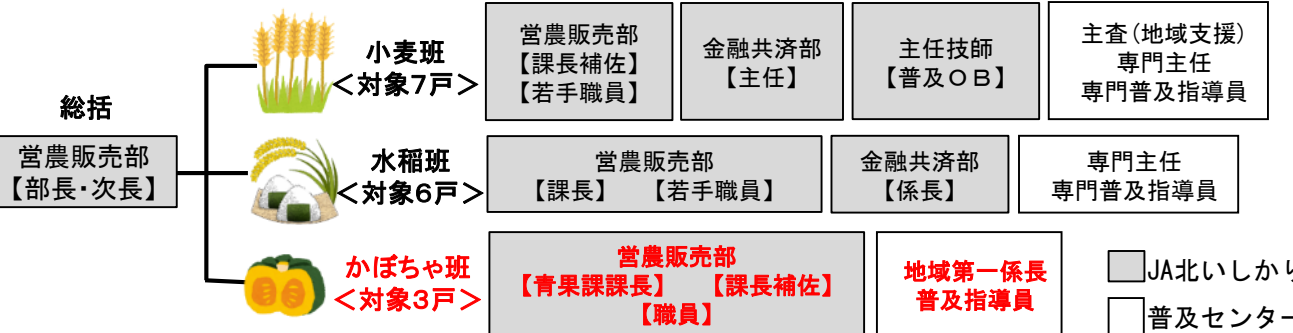


低収農家の経営改善に向けた支援体制を強化！

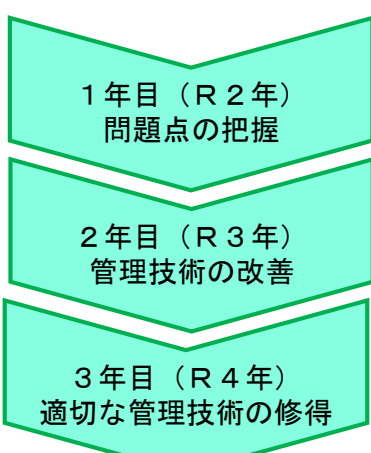
JAと普及センターでプロジェクトチームを立ち上げ、低収農家を対象に収量を底上げし、経営の安定化を図る！

2 活動の経過

プロジェクトチームの編成



活動期間



プロジェクトの展開

- 面談・提案**
 - ・病害虫・雑草防除の提案
 - ・排水対策 など
- 巡回・指導**
 - ・育苗管理
 - ・生育に応じた追肥 など
- 確認・調査**
 - ・提案に対する取組・生育の確認
 - ・試験調査 など





- 活動状況の把握と共有
- 指導内容の統一化

活動記録シート（かぼちゃ班）一部抜粋

日時	E氏 2年目	K氏 2年目	I氏 2年目
3月25日 面談	<ul style="list-style-type: none"> ■F3の課題は、①土壌pH矯正、②適正施肥の2つ。 ■土壌pH矯正は、窓室したタンカル150kg/10aと糞肥同量の140kg/10aを施用予定。 ■糞土施肥は、窓室内容（糞肥260ok：100kg、お肥S444：20kg/10a）の承諾が得られた。 ■土壌pH矯正下における減肥（260ok：80kg、1割分）と比較する。 ■有機物施用について、コンポスト（2t/10a）を前年様に施用済み。 ■マルチは幅95cm・白色を使用。 	<ul style="list-style-type: none"> ■F3の課題は、①排水対策、②土壌pH矯正、③適正施肥、④有機物施用の4つ。 ■排水対策では、ホクレンの協力のもとカットブレーカーを施工予定。 ■土壌pH矯正では、証策-2のみ窓室した量の2割削減を施用。 ■有機物対策では、物理的防除の他「フブ乳剤」（イネ病対策）を使用予定。 ■有機物施用では、「アグロリブ(SiC)」を使用。実用かぼちゃ作り予定は確認し、要件確認としてスルヤスルヤ野生種の導入を前向きに検討。 ■マルチ幅について、幅95cmを試験的に幅85cmと比較する。ともに透明。 	<ul style="list-style-type: none"> ■F3の課題は、①育苗管理、②土壌pH矯正、③適正施肥、④有機物施用の4つ。 ■育苗管理は、ほ場作業との後の育苗管理について指導している。なお、育苗は後せんが管理しているとのこと。 ■土壌pH矯正は、窓室したタンカル150kg/10aの施用を承諾。 ■減肥の対応は、普及の栽培講習会・農家研修会を念頭に実施予定を交際した。お肥均にローターが入るためお肥が対策も視野に入れている。 ■排水対策は、引き続き排水管の導入を前向きに検討し、排水管の埋入も視野に入れ、指導講習時には息子さんにも研修してもらった。 ■マルチは幅85cm・白色を使用。
5月6日 育苗巡回	<ul style="list-style-type: none"> ■一部出芽しないカボちゃがあったため、電熱・トンネル（シルバー）で育苗。結果、延長した。 ■シルバの除去、実施を行い、出芽率は補給用とし、植え替えは予定通り進められた。 ■まだ出芽していないカボちゃは、70%ほど出芽したシルバを除去する予定。 		
5月7日 カットブレーカー施工		<ul style="list-style-type: none"> ■ホクレンのデモ機を利用して、ほ場2筆へ施工した。 ■施工を実施したお肥均お肥均、結果が確認されたい機が稼働したとのこと。 	
5月19日 育苗巡回		<ul style="list-style-type: none"> ■出芽にバラつきがあり、お肥均は遅く出芽するもの。 ■「アグロリブ」について、株元施用は1000割、葉面散布は500割で前年。 	<ul style="list-style-type: none"> ■お肥均で気温は31〜6℃であったため、パイプが熱帯気候のままで、ハウスの換気を指導した。 ■全体の70%出芽したお肥均は除去し、かん水する予定。 ■育苗は順調に経過した。 ■お肥均の後に生育が鈍く、カボちゃが生育しているため、マルチに散布を指導した。
6月10日 定植巡回	<ul style="list-style-type: none"> ■定植後のお肥均は、不織布の被害によって残ることもなく、その後の生育は順調であった。 ■生育に伴い不織布が盛り上がりすぎたため、被覆材を撤去する、または除去を指導した。 		

3 活動の成果 *****

対象農家が改善効果を実感できる取組を実施！

硬盤層が破碎された実感があった！



カットブレーカーの施工（ホクレンのデモ機を使用）

マルチ幅だけでこんなに違うんだ！



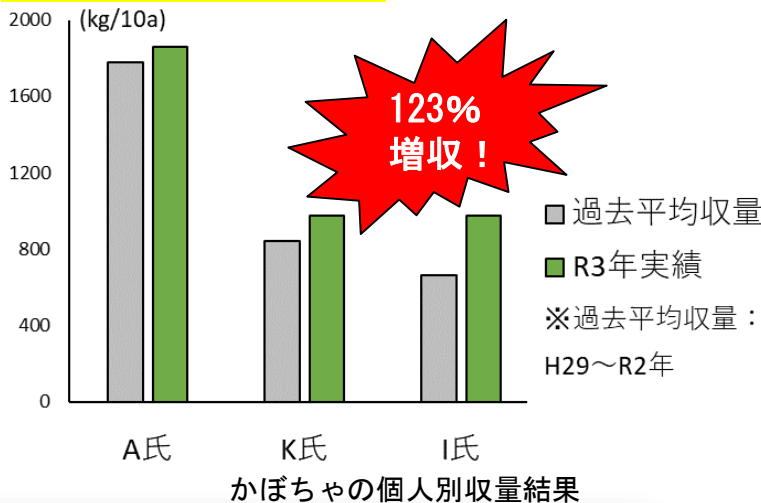
展示ほ場の設置（異なるマルチ幅による生育の比較）

他にも・・・

育苗管理、病害虫防除、肥培管理などに対しても積極的に取り組まれました！



対象農家3戸平均で・・・



かぼちゃの個人別収量結果

改善効果を実感的・視覚的に実感してもらったことで、対象農家の改善に対する意欲が更に向上し、増収に繋がった！

4 今後の活動 *****

- ◆ 正しい栽培技術の定着と更なる増収に向けた技術支援
- ◆ 情報共有の継続
- ◆ 活動成果の地域への波及